

G

S

M

元気な しもすわっ子 学びの発表会

第37回

保・小・中・特・高・コミュニティースクール5周年

下諏訪町健全育成研究集会

町校長会長 小野英幸下諏訪社中学校長挨拶

先日、町内を車で運転をしていると、真っ白いボディの新型あざみ号に偶然出会いました。ここには向陽高校の生徒の皆さんのデザインをもとに、下諏訪町の市民が空に舞うイメージが描かれています。初めて見たので、何だか楽しい気持ちになりました。地域を繋ぐ足としての活躍に期待したいと思います。



今、「繋ぐ」という言葉を使いました。学びは生涯にわたって繋がります。今日は保育園、小学校、中学校、養護学校、そして高等学校へと学びを繋ぐ発表会です。とがわ保育園は地域交流について、下諏訪北小は親子で参加するふれあい講座について、下諏訪南小は町の良さをPRするCM作りについて、下諏訪社中は絆太鼓の演奏と下諏訪活性化プロジェクト、下諏訪中は雅楽演奏とプレゼン講座、花田養護学校は御田町おかみさんとの交流、向陽高校は各種地域貢献事業の様子について、なぎがまコミュニティースクールからは、5周年に至る経過と広報活動についてです。

この会は、子どもの良き姿を発信する場として、現在のような形になって3年目を迎えます。活躍する子どもたちの学びを地域につなげることが参会者の役割でもあります。つなぐ学びとつなげる地域、そんな形が地域力を高めることに繋がります。子どもの姿に学びながら、地域に発信できる、そんな会にしたいと思っています。どうぞよろしくお願いいたします。(拍手)

生涯学習

No.549

かおり高い
文化のまち

下諏訪中学校 P.13



下諏訪社中学校 P.13



花田養護学校 P.16



下諏訪向陽高校 P.17



下諏訪北小学校 P.15



なぎがまCS P.16,17



とがわ保育園 P.14,15



下諏訪南小学校 P.14

発行 下諏訪町教育委員会
編集 生涯学習
編集委員会〒393-8501
長野県諏訪郡下諏訪町4611-40
(下諏訪総合文化センター内)
☎0266-27-1111(内線718)
FAX 0266-28-0131
E-mail=syougai@town.
shimosuwa.lg.jp

下諏訪中学校

下諏訪中学校では、なぎがまCSと連携して、職場体験学習、ロータリークラブとの関わり、授業でのゲストティーチャーなど、様々な地域連携事業を行っています。今日はその中から、なぎがま講座という総合的学習の時間の取り組みが紹介されました。



会場における
雅楽の発表→


学校での雅楽
練習風景




なぎがま講座より プレゼン講座

プレゼン講座の発表は、グループ「深海魚」の皆さんの軽妙な司会で大変盛り上がりました。今回のテーマは、「なぜ下諏訪町に黒曜石が多いか」というものです。下の4つからえらんでね。


①下諏訪町は、山や湖が多く動物・魚・果物が豊富でした。そして黒曜石と交換しました。




②八ヶ岳から、霧ヶ峰にかけて黒曜石が生産される山が連なっていてそれが下諏訪町だったんだよ。



③昔、長野県で火山の噴火で黒曜石がたくさん、火山から出てきて下諏訪町付近に落ちたからだよ。



④黒曜石は標高が高く涼しい場所で作られます。それでここ、下諏訪町は涼しいから黒曜石多いんだよ。



答えは↓

下諏訪社中学校



下諏訪社中学校には、総合的な学習の時間「社の時間」という授業があります。この時間には、全校生徒が行きたい講座を選択し、1年生から3年生までの縦割りりで学びを深めていきます。今回は、その中から「絆太鼓講座」と「下諏訪活性化プロジェクト」の講座の発表がありました。

←会場を圧倒する勇壮な「諏訪一番太鼓」の響き

下諏訪活性化プロジェクトは、絆太鼓と同じ、社の時間の講座の一つです。今年度は昨年度同様、社地区にあるホシスメバと連携して、リノベーション活動の手伝いを行う中で、下諏訪を明るくするための方法を考えました。



プレゼン講座の答え②

下諏訪南小学校 6年2組

めざせ！「ふるさとCM大賞」(長野朝日放送)

5年生の時「下諏訪町の小路」をテーマに、「優秀賞」を受賞。今年「中山道」をテーマに再挑戦。中山道の魅力を30秒にまとめるのは大変だったけど、力を合わせてのりこえました。今年も予選を突破し、最終審査に出場。会場では2本の動画と最終審査で披露するパフォーマンスを発表してくれました。



今年のCM動画のタイトルは「もてなす心が続く道」。中山道と下諏訪宿の魅力を探ろうと、聞き取り、見学、訪問、探検を重ねた。



最終審査の結果は2年連続の優秀賞。大賞ではなかったけど、みんな大きな達成感を味わいました。



グループホーム「縁」とは、春秋に1回ずつ、年中・年長組で交流をしてきました。歌や体操を発表すると「上手だね。かわいいね」といわれ、うれしそうな子どもたち。おばあちゃんたちと2、3人のグループでふれあい体験もしたそうです。



下諏訪北小学校

年に一回、親子で参加する「ふれあい講座」。親子で一緒に作品を作ったり体験したりして地域の方に学ぶ場になっています。活動が始まったのは、今から20年前。「スライム作り」や「廃油せっけん作り」「和太鼓」などの他、「北小の怖い話」というのもありました。

ふれあい講座

1999年 9月にスタート

19講座 児童 約400人
保護者 約300人



スライム作り
廃油せっけん作り
和太鼓 など



第1回 ふれあい講座 9月18日
北小のこわい話

卓球教室



フラワーアレンジメント クロック作り まが玉作り



ポーセラーツ体験



今年の講座から

ふれあい講座は今年も19講座が開設され、たくさんの地域の方に、教えていただきました。中には、20年経った今でも形を変えて引きつがれている講座もあります。5年生がしめ縄作りを夢伽志会の皆さんに教わる「わら細工講座」がそれです。

北小のふれあい講座は、地域の方が学校との関わりを大事に長年協力してくださっているからこそずっと続いているのだと思います。

「地域の方に学ぶ」場

ふれあい講座 + クラブ活動 生活科
総合的な学習の時間



中学へ行っても
地域の方々から学ばせていただきます



とがわ保育園 年中・年長組と 地域交流



子どもたちは、入園・進級すると、しばらくして野菜の苗を植えます。楽しみにしながら大事に育て、きゅうりやミニトマトを収穫します。また、夏になっての一番の楽しみは、スイカ割り大会です。畑ではジャガイモやサツマイモを育てます。

保育園の交流の様子を紹介します。園では、毎年信濃医療センター保育園との交流を年中・年長組が行っています。初めての見学で保育園や風呂場を見学させてもらった年中組、車椅子体験をした年長組、よい経験になりました。



信濃医療福祉センター
保育園との交流



ともに生き ともに学ぶ
花田養護学校中等部

花田養護学校中等部には現在24名の生徒が在籍し、自立活動、生活単元、教科学習などのグループに分かれて学習しています。生徒は、地域の皆さんと関わる機会が少ないので、その機会を作ることを大切に考えています。今日は、自立活動学習グループの生徒が参加した、御田町のおかみさんの学校訪問や御田町への訪問における交流の様子を発表します。

交流のはじまり

1998年のパラリンピックをきっかけに交流が始まりました。2015年には、ゆるキャラミーたまさんも誕生。



自立活動グループの生徒は、ものにさわったり、匂いを感じたりと、感覚を使った活動をする中で、その刺激を受けとめ、それを自分で感じた方法で表す学習をしています。

おかみさんが来てくれた！ 1Bグループ

- 自分から手を動かしたり、声をだしたりすることが得意
- 自分たちの好きな活動をおかみさんたちと楽しみました

最初は目を閉じていたMくん
おかみさんと手を握ったり、土に触っているうちに大きく目を開く姿が見られました

学校での交流を通して・・・目や指を動かしたり、笑顔になったり…。ひとりひとりが持っている力で気持ちを伝える生徒の姿がみられました。

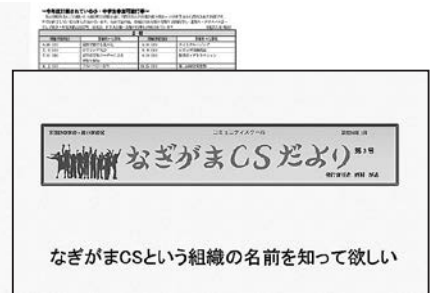
御田町にいこう 2グループ



ハサミが見たいという願いが叶いました

自分でおかねを払うKくん

だれもが住みやすく、活気のある町を目指して前進する御田町の皆さん。だれもが住みやすい町、その中にあたりまえに花田養護学校の生徒が含まれており、皆さんの仲間なんだと感じました。



○なぎがまCSだより制作に関わって
 広報紙のタイトルは、組織の名前を認知して欲しいとの願いから「なぎがまCSだより」とし、表題は当時の南小教頭の塚田先生の手によるものです。発行第1号は横書きで写真も少なかったのですが、10号からは編集ソフトを使って、縦書きにするとともに、写真を多用、読みやすくわかりやすくをモットーに作成してきました。

右は令和元年9月に発行した、なぎがまCS設立5周年を記念する、特大の13号と、イメージイラストです。また今年から下中、南小の学校HPより、パソコン・スマホとリンクして、CSだよりのバックナンバーが閲覧できるようになりました。未来を担う子どもたちのために、これからも地域の皆様のお力をお借りし、皆様の学校との関わり方をコーディネートするなぎがまCSの活動を続けてまいります。これからもご理解とご協力をよろしくお願いします。

下諏訪向陽高校

『向陽生の 地域連携事業について』

長野県下諏訪向陽高校
現3年生が生徒自治会の中心だった平成30年9月
から令和元年10月を中心とした本校の取り組み



下諏訪向陽高校の沿革

今年で創立40周年。生徒の出身地は諏訪郡全体に及び、自分の暮らす市町村と比較することで、様々なアイデアが生徒の中から出てきます。

地域連携事業に関わっては、通学路の武居坂に、入学式・卒業式に横断幕を掲げてくださるような地域あげての対応に、常々感謝の気持ちを持っています。



卒業式

← 入学式



武居地区の方々が掲げてくださる横断幕

地域連携事業の紹介

(1) 主催事業

- ① 小中学生かるた教室
- ② 子ども野球教室
- ③ 向陽生と子どもたちの交流
- ④ クッキー配り・他

(2) 事業協力

- ① 下諏訪ガーデンプロジェクト
- ② 社会を明るくする運動への協力
- ③ 三角八丁ハロウィンパレード・他



向陽生と子どもたちとの交流
(1) 向陽生と遊んで楽しむ



ボウリングの様子

向陽生と下諏訪町との連携

(1) 向陽祭

『語るカフェ』

下諏訪町議員さんと自由に交流ができる企画
今年で3回目の実施



向陽生と下諏訪町の連携

←向陽祭で下諏訪町の議員さんと自由に交流できる企画、「語るカフェ」を実施。身近な話題について、至近距離で話すことにより、親近感がわいてきます。

→ハロウィンパレードへの参加の様子です。地域の皆さんと朝から準備し、風船配りでは、子どもたちの「ありがとう」の声がうれしかったです。



(3) ハロウィンパレード参加

今後予定されている事業

- 下諏訪町保育園めぐり
3年生芸術選択者 音楽・美術・書道
- 小中学生かるた教室(2月29日)
下諏訪向陽高校 理科準備室
- 向陽生と遊んで楽しむ
下諏訪総合文化センター
生徒自治会執行会有志



まとめ

- ・ 地域との交流・連携事業を積極的に推進し、地域と協働する高校を目指す。
- ・ 下諏訪町に根ざす県立高校として高校生アイデアを下諏訪町に提案し、地域に協力する。下諏訪町を想う心を伝統としていくことが本校の存在意義の一つとなる。

なぎがまCS 広報部

○なぎがまCS（コミュニティスクール）設立まで

平成26年9月、当時の下諏訪中学校学校支援本部の席上、「信州型コミュニティスクール」というお話をいただいた。学校と地域が、今以上につながりを強化し、地域の皆様と子どもたちの関わりを増やし、地域に学ぶ学校の実現、運営委員会のさらなる充実を目標として取り組む、という方向が示された。平成27年4月に、第1回なぎがまCS委員会が開催され、正式に各委員の決定がなされました。

始まったのは良いけれども、何をやるんだろう、何をしなければいけないかということで大変悩み、学校の要望や子どもたちが地域に積極的に関われるような情報提供するなど、できることから行っていくということで、学校支援本部、地域連携部、広報部の部会が発足しました。

設立当初からの課題であった組織の認知度を高めることと、活動の様子を地域住民の方に知ってもらうために、年に3回広報紙を作成し、地域・保護者家庭に回覧・配布してきました。



松崎教育長の講評



本日は子どもたちの発表を主とした「元気な(G)、しもすわっ子(S)、学びの発表会(M)」に、多くの方にご参加いただき開催できたことを心より嬉しく思います。この会は、第37回、保・小・中・特・高健全育成研究集会ともなります。子どもたちが地域とのかかわりの中で学んだことを中心に、分かりやすいプレゼンテーションや演奏、パフォーマンスなどを通して、楽しい発表をしていただきました。(各園・学校への講評は略)

なぎがまCS5周年。西村委員長、広報部武居部会長様から、学校と地域とを繋ぐ、子どもたちや先生方と一緒に作りあげてきた「なぎがまCS便り」の取組について発表がありました。表題や読みやすさの工夫が今日につながっているとのことで、全戸配布のお便りの益々のご発展に期待します。

短い時間ではありましたが、今日の発表が素晴らしかったことを大いに褒め認めていただきながら、子どもたちの活動の価値について、それぞれのお立場でご理解いただき、子どもたちを応援していくことが真の意味の健全育成につながるのではないかと思います。

有意義なひとときをありがとうございました。

参会者の感想から

◇今日はありがとうございました。これからの下諏訪町が、若い人たちによって支えられていくことが楽しみです。発表する子どもたちの一生懸命に取り組む姿勢です。これからも町のイベントなどでどんどん皆さんにも聞いて欲しい。太鼓や雅楽ももっと発表して欲しい。高校生の皆さん、小さな子どもをやさしく包んでいただけたら、町民としてうれしい。ありがとうございます。

(保護者)

◇子どもたちの生き活きとした活動を上手にまとめられて発表できていたと思います。南小のCM作りの発表は、おもわず泣けてしまいました。花田と御田町のおかみさんたちとの交流も、このような発表の場がなければわからずじまいでした。だからこそ、このような機会はとても大切だと感じました。これからも継続をお願いします。(保護者)

◇どの発表もすばらしかったです。実演、スライド、とてもわかりやすく、楽しかったです。人のために何かをするということが人間の成長につながるのだと、改めて感じました。子どもの時からやるのが必要ですね。(保護者)

◇子どもたちが総合的な学習等を通じて、たくさんの方との交流を知りました。保護者の方々の協力も大きいと感じました。参加でき良かったです。今後もし引き続き活動をしていただきたいです。(園・学校職員)

◇昨年度は発表側について、今年度は見る側に見ていただけると、もっともっと下諏訪町の教育についての理解が深まると思います。(園・学校職員)

◇90分でスッキリ。すばらしい集会でした。地元企業と中高生の交流もぜひ。(町がさらに盛り上がるには)中高生はより情報の発信源になるし、企業のPRにもなると思います。(園・学校職員)



ブックカフェ 2019 へ ようこそ

秋の深まりを感じさせる昨年11月4日、ブックカフェが盛大におこなわれました。お天気にも恵まれ、大勢の方が“読書”に“お茶”に親しんでいました。



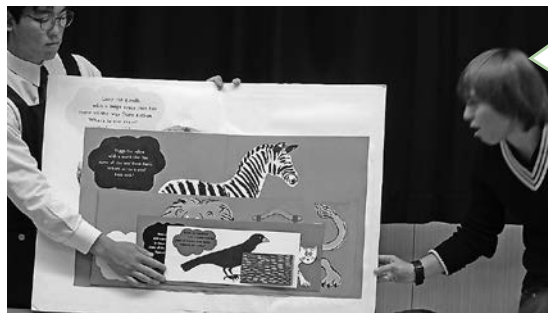
はじめに、小学生図書委員二人組の「私のすすめる一冊の絵本」の紹介です。



会場風景



会場にかざられたポップ & 紹介本



英語で書かれた絵本の紹介。高校AETの先生がお話を訳してくれています。



ブック(本)とカフェ(お茶)が一緒に味わえるのが、ブックカフェ。ご来場ありがとうございました。

向陽高校のお兄さんたちによる大型絵本の読み聞かせ。今年も英語つき。



11月のこと

自他共に認める運動音痴の私ですが、唯一人並みに出来る自信があるスポーツが、スキーです。父に小学校に上がる以前から指導してもらい、冬になると近所のスキー場に通い詰めました。

家族全員の趣味がスキーであったこともあり、様々な場所にスキー旅行へでかけました。自然に大きく左右されるため、大雪でリフトが動かず、ゲレンデに出られなかったこと、日差しが強くて雪が溶けてしまったことなど色々な場面に出くわしました。それでも、自然を体全体で感じながら滑る楽しさは何にも代えられないことでした。運動ができないコンプレックスで、体育の授業は憂鬱(ゆううつ)でたまらない時間でしたが、スキー教室だけは別。この一日だけはクラスメイトから「すごいね!」と声をかけてもらい、プロの先生から技術を教わり、心からこの時間を楽しむことができました。スキーとの出会いがなければ、私はスポーツ全般を「苦手なもの」として自分の中で封印してしまっただけだと思います。今になって、スキーを通して、体を動かすことの楽しさ・喜びを学ぶことが出来たことを実感しています。スキーとの出会いを作ってくれた父に感謝しています。

(上野 詩織)